

地域活動実施に当たり新型コロナウイルス感染予防で気を付けたいポイント

北海道の緊急事態宣言が解除され、6月1日から各公共施設の再開になりましたが、新型コロナウイルスが完全に終息した訳ではありません。しかし、感染防止の為に今までの様に活動自粛を続けていくには身体的にも精神的にも限界があります。また、老人クラブやサロン、趣味活動などは地域の皆様にとって無くてはならない活動であります。

そこで、地域活動の再開等に向けて感染予防で気を付けたいポイントを、北海道が掲げる「北海道スタイル」や安平町の「社会教育施設等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を参考に具体的にまとめました。

サロンやボランティア団体等の活動は任意の活動になりますので、必ずこれを遵守しなければならないという事ではありませんが、活動を新たに始めたり、再開したりする際の判断材料として参考にしてください。

北海道スタイルとは・・・新型コロナウイルスとの闘いが長期化している中、国が示した「新しい生活様式」の北海道内での実践に向けた、新しいライフスタイルやビジネススタイルの事。

●会合や行事開催に関しては、従来の形式以外の方法（インターネットを使ったオンライン会議や電話会議、書面開催等）での実施も視野に検討をしましょう。

●従来の形式で活動を行う際は以下の点に気を付け、開催に当たっては参加者全員に周知して行う様にしましょう。

①会場での3密（密閉・密集・密接）を避けるようにする。

密閉・・・換気の悪い空間

密集・・・大人数が集まる

密接・・・間近で会話や発声をする

②接触機会を減らすため、人と人との距離を確保する。

・出来るだけ2m（最低1m）の距離を取るようにする。

・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。

③参加者のマスク着用、咳エチケット、アルコール消毒や手洗いの徹底に取り組む。

・咳やくしゃみをする際には、マスクを着用する・ティッシュやハンカチなどで口や鼻を覆う、上着の内側や袖で覆うなど人に飛沫しないようにする。

・手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う。

- ④参加者の体調確認を行い、熱や咳など風邪の症状がある等には参加をしないように事前に周知する。
- ⑤事前に参加者を把握し、参加者名簿を作成し、連絡先等を把握しておく。
- ・万が一、参加者に感染が発生した際に他参加者の症状の確認などで連絡する必要があるため把握しておく。
- ⑥こまめに換気を行う。
- ・目安として、30分ごとに1回以上、5分間窓を全開する。
- ⑦大人数での飲食を伴う会合や会食などの行事は控える。
- ・食事の提供をする場合は、その場で食べずに弁当など持ち帰って食べる様にする。（夏場などは食中毒にも十分注意する）
 - ・サロンなど少人数で開催する場合は、対面で座る事は避けて距離をとり、皿や食器などの共有を避けて、個包装の菓子やペットボトルなど個々で飲食が出来るよう配慮する。

参考例：飲食等をする場合の座席配置

